

# 色彩と幼児と環境

— 幼児の情緒状態と —

色彩好悪の關係について —

兵庫・大志幼稚園

和田 惟子

本研究は、情緒的に不安定な幼児と比較的安定している幼児が、日常の生活において特定のことばからどのような色彩を連想しているかを調べ、両者の人格構造の差異の究明を目的としたものである。

## 一、対象選択について

イ、本調査は、兵庫県多可郡大志幼稚園々児計七六名に対し榑原清著『絵本低学年団体知能検査』を実施し、その結果IQ一〇〇を中心としてIQ八〇から一二〇までのものを選んだ。

ロ、しかる後既成の乳幼児神経質診断テストを実施し、その結果から乳幼児神経質得点が高得点に属するものを仮に情緒不安定群とし、逆に低得点のものを情緒的安定群とした。

ハ、その結果前者に属するもの二〇名、後者に属するもの二三名である。

## 二、調査手続

イ、本調査は、昭和三三年二月六日から八日に至る間に、一人平均十分間の個別面接によっておこなったものである。

## 調 査 結 果

情緒状態 色別	情緒不安定群			情緒安定群		
	寒色	暖色	その他	寒色	暖色	その他
刺戟語						
お父さん	10 50%	2 10%	8 40%	12 52.20%	6 26.10%	5 21.75%
お母さん	1 5%	19 95%	0 0%	1 4.35%	22 95.70%	0 0%
先生	3 15%	16 80%	1 5%	7 30.45%	16 69.60%	0 0%
太陽	1 5%	19 95%	0 0%	4 17.40%	19 82.65%	0 0%
月	3 15%	16 80%	1 5%	5 21.75%	18 78.30%	0 0%
石	8 40%	9 45%	3 15%	13 56.55%	7 30.45%	3 13.05%
星	9 45%	10 50%	1 5%	7 30.45%	13 56.55%	3 13.05%
恐しい	4 20%	3 15%	13 65%	10 43.50%	3 13.05%	10 43.50%
冷たい	15 75%	5 25%	0 0%	18 78.30%	4 17.40%	1 4.35%
優しい	6 30%	14 70%	0 0%	13 56.55%	10 43.50%	0 0%
暖かい	7 35%	13 65%	0 0%	7 30.45%	15 65.25%	1 4.35%

ロ、刺戟語としては、比較的幼児にとって連想しやすい「お父さん」「お母さん」「先生」「太陽」「月」「石」「星」「恐しい」「冷たい」「優しい」「暖かい」の十一語を選んだ。

## 三、結論

イ、「お母さん」「冷たい」「暖かい」などについては両群共にほとんど同じように答えている。

ロ、両群間に、その反応の差異が大であると認められるものは「お父さん」「先生」「太陽」「恐しい」である。

ハ、両群間の反応傾向が逆のものは、「石」及び「優しい」である。